

第9巻 編集後記

恵寿総合病院医学雑誌 第9巻に、原著論文、症例報告を投稿して頂きありがとうございました。また、論文の査読に協力して頂いた先生方に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス流行で、診療・治療・手術等に大幅な変化が生じている中でも、医学研究を行うことには意義があります。医学研究は、医療の質を向上させ患者さんに幸せを提供できるからです。医療の質を向上させるためには、治療・手術・検査等の医療を行うだけでなく、それらの結果の評価が必要です。研究論文は、なぜその論文を執筆するか背景、対象と方法から結果を導き、考察し結論するという流れの中で成立します。現時点で査読者に研究のやり直しを求められ、再度研究を行っている執筆者もいます。論文を執筆することの困難さを実感されたと思います。論文が受理されなくても、論文を執筆したという事実が医療者のレベルを向上させ、一つの論文を書き終わると自分の成長が見えてきます。

今後も多職種から、多数の論文が投稿されることを期待するとともに、内容を充実させ医学雑誌の質を高めていく必要があります。恵寿総合病院医学雑誌から、長く読み継がれる論文が輩出されることを願っています。

2021年3月吉日

恵寿総合病院医学雑誌 編集委員長 川村 研二